

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2011-72
研究課題名	原発性アルドステロン症の検査・治療費に関する研究
研究期間	西暦 2011 年 7 月（倫理委員会承認後）～ 2013 年 7 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療情報）
上記材料の採取期間	西暦 2007 年 4 月～ 2011 年 5 月
意義、目的	<p>我が国における原発性アルドステロン症は、高血圧患者の 3.3～10%前後と、2 次性高血圧症の中で最も頻度の高い疾患である。東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科および放射線診断科では、副腎静脈サンプリングを行ない、99%の高い採血成功率を収め、泌尿器科により積極的な手術治療を行っている。しかしながら、現状では同手技を行うことが可能な施設と医師の不足から、すべての適応症例に対して、全国規模で副腎静脈サンプリングを行うことは困難である。加えて、介入検査・治療後の医療費の削減が予測されるも、その検討がされていない。</p> <p>本研究では、2007 年 4 月から 2011 年 5 月まで、東北大学病院にてアルドステロン産生腺腫の局在診断および治療を行った患者群 130 例と、薬物療法群 140 例において、過去の診療情報から、入院治療費を含む医療費、薬剤費のデータベース化を行い、年齢年代別の社会的コストも考慮した上で 2 群間の費用比較分析を行う。</p>
方法	<p>① 東北大学の過去の診療情報から対象症例の入院治療費、年間外来診療費、外来来院回数、患者負担金額、及び処方薬剤名、容量を Microsoft Access を用いてデータベース化を行う。この時点で、シリアル番号と ID による連結可能匿名化を行い、以後患者氏名は用いない。</p> <p>② ①のデータベースをもとに外来処方薬剤名及び容量から年間累計薬剤費を求め、データベースに追加する。</p> <p>③ データベースから手術治療群、および薬物治療群の累計医療費を一年毎に算出し、薬物治療群の医療費が手術治療群の医療費を上回る時点(ここでは break even point とする)を求める。</p> <p>④ また、データベースを年齢年代別にソートし、文献引用による年齢別社会的コストから、各年齢における break even poin を求め、比較を行う。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	<p>〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院放射線部 高瀬 圭 佐藤 美帆 022-717-7312 meifan58@med.tohoku.ac.jp</p>